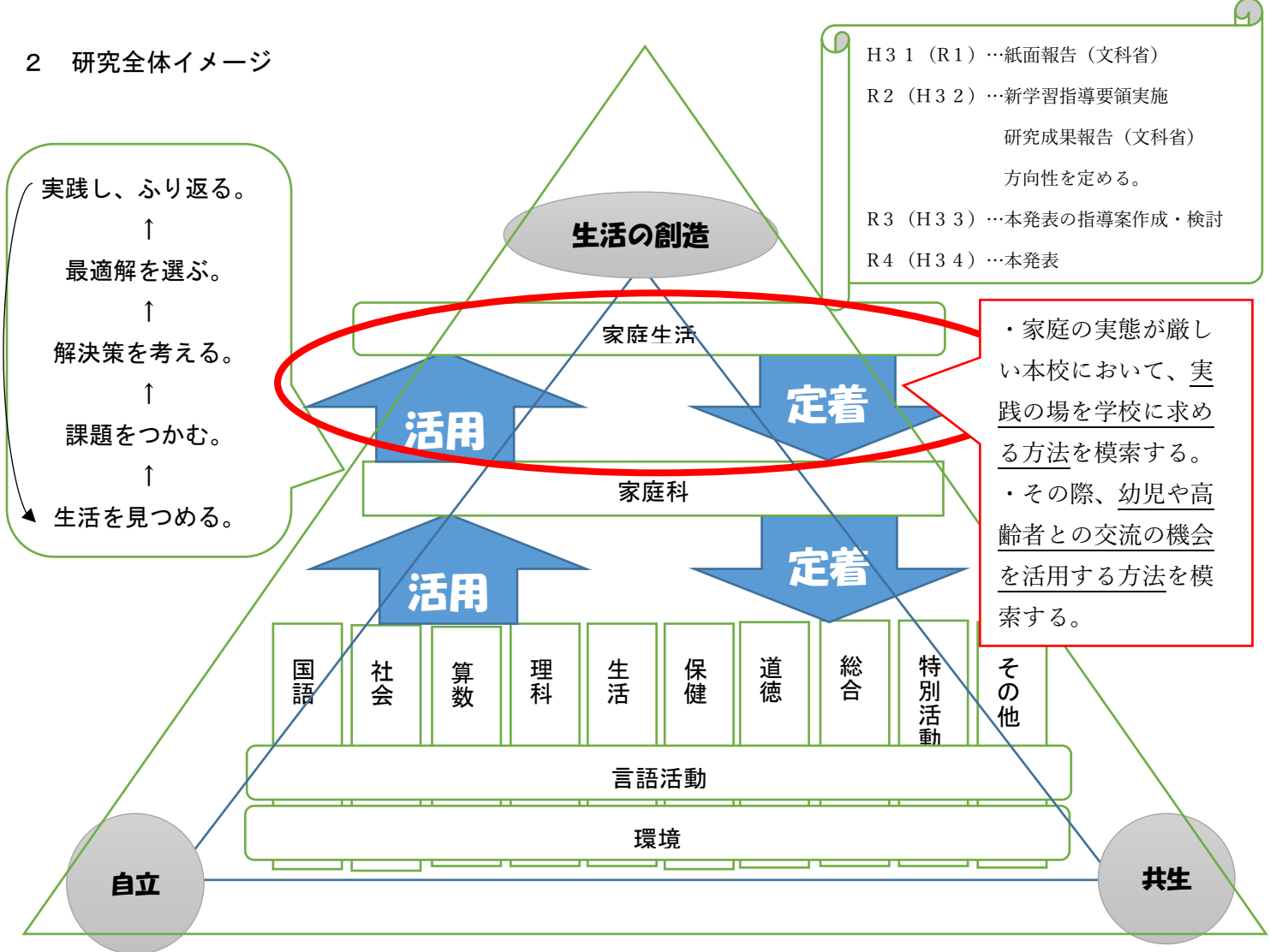


1 研究主題

主体的によりよい生活を創り出す児童の育成

～家庭・地域とのつながりの充実を目指して～

2 研究全体イメージ



【研究の中心】

新指導要領における「A家族・家庭生活」

(1) 自分の成長と家族・家庭生活

ア 自分の成長の自覚、家庭生活と家族の大切さ、家族との協力

(2) 家庭生活と仕事

ア 家庭の仕事と生活時間

イ 家庭の仕事の計画と工夫

(3) 家族や地域の人々との関わり

ア (ア) 家族との触れ合いや団らん

(イ) 地域の人々との関わり

イ 家族や地域の人々との関わりの工夫

(4) 家族・家庭生活についての課題と実践【新設】

ア 日常生活についての課題と計画、実践、評価

【新設】

幼児又は低学年の児童、高齢者など異なる世代の人々との関わりに関する内容

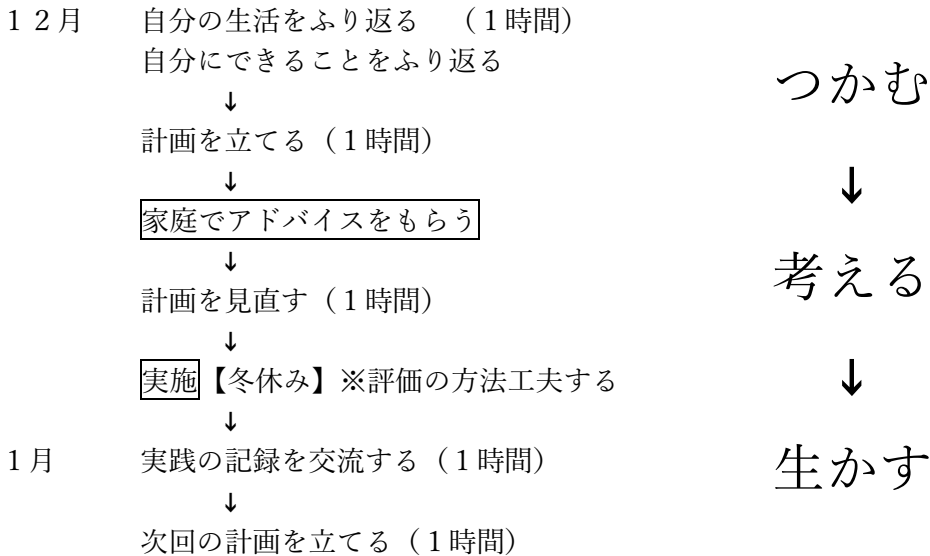
3 研究内容と具体的提案

【視点1】指導計画の工夫

- ① 内容「A家族・家庭生活」と他教科・行事との関連を図った指導計画の作成
- ② 内容「A家族・家庭生活」(4)「家族・家庭生活の課題と実践」の効果的な位置付け

君の力で家族が HAPPY !

かじマスターの挑戦！ (5・6年生の12月～1月で5時間実施)



【視点2】主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習指導の工夫

- ③ 主体的に学習に取り組む課題設定の工夫
 - ・毎題材の最後に「かじマスター」の時間を設定する。

A(4)「家族・家庭生活の課題と実践」に通じるミニ挑戦コーナーのようなもの。自分なりにこれまでに学習を生かして課題をもち、その解決に向けて実践ができる内容にする。

課題と実践

かじマスター！ 家事

(5年「はじめてみようクッキング」の場合)

- ① 調理の手順と調理用具を知る
- ② お湯をわかし、お茶をいれる
- ③ 調理実習(ゆでる)
たまご・青菜
- ④ 調理実習(ゆでる)
カラツリゆでササゲ

この部分

今回のかだい(できるようになりたいこと・知りたいことなど)

今回のばっせんをふり返って…(うまくいったこと・失敗したことな

次のかだい(できるようになりたいこと・知りたいことな

次のじっせん

・毎題材の最初に、本題材の学習の流れを示し、最終にどんな「かじマスターチャレンジ」があるのか見通しをもたせると共に、意欲につなげる。

その際、できれば「家族・幼児・低学年・高齢者などとの関わり」をもたせることが望ましい。

④ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けたICTの効果的な活用方法の工夫

- ・実物投影機やデジタル教材などを活用する。
- ・ICTを活用したフラッシュ暗記（チャンツのように）。
- ・替え歌で覚える家庭科の基礎。

…など、もっといろいろなアイデア募集します。

【視点3】学習意欲や実践力を高めるための学習評価の工夫

⑤ 学習過程を見通し、児童の変容が分かるワークシート下の活用

かじマスターポイント☆通帳

食生活	5年	はじめてみようクッキング	調理用具を安全に使う。	◎	○	○
			卵や青菜をゆでる。	○	○	
			ゆでておいしく調理する。	○	○	○
	6年	食べて元気に	なぜ食べるかが分かる。			

- ・題材スタート時に「今の自分」についてふり返り、自信のある分青丸をつける。
- ・題材終了時に「今の自分」をふり返り、自信のある分赤丸をつけ、自分ののびを感じさせる。

⑥ 家庭・地域での実践における評価の活用

- ・家族団らんの日とも絡めて。
- ・家庭で児童を評価してもらえる仕組みをつくる。

【視点4】家庭・地域との連携

⑦ 総合的な学習の時間や行事との関連を図った取組

- ・題材配列の中で工夫する。（交流の際のお礼やプレゼントに家庭科で製作したものを贈る。そのために、相手を喜ばせるために作戦をたてる…など）

《関係のありそうな部分》

【1年】6年生との交流（なかよし班・そうじ）・惇明女性の会との交流

【2年】1年生との交流（学校案内・おもちゃまつり）

【3年】総合「福知山」（地域の方との交流）

【4年】総合「えるむ」（高齢者との交流）

【5年】にこにこ広場（幼稚園との交流）

【6年】1年生との交流（1年生歓迎会）・卒業制作・謝恩会など

⑧ 家庭・地域での実践につなぐ取組の工夫

・家庭科だより

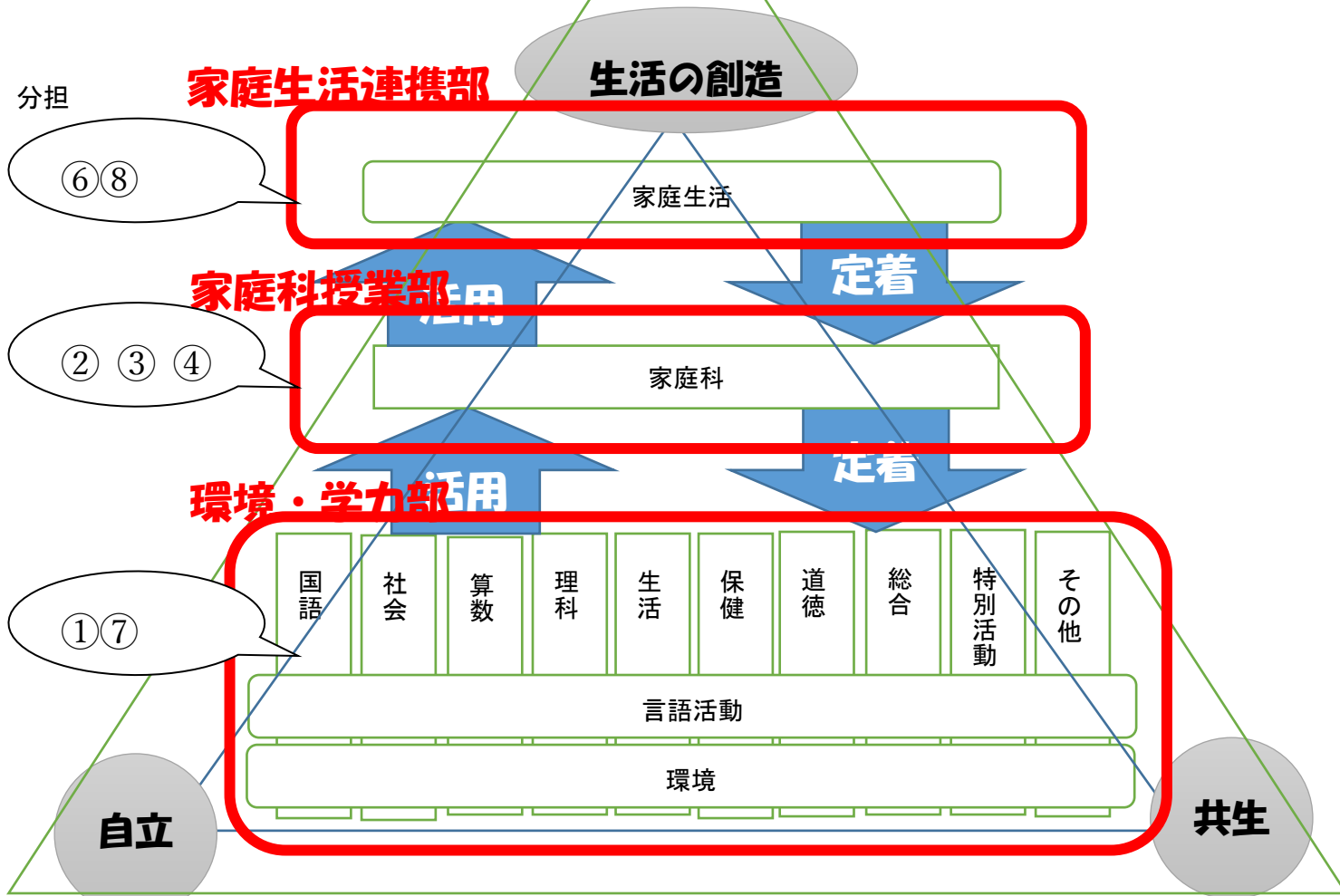
【内容】家庭科の学習の様子

家庭科の基本事項

家庭科ビンゴ など

4 研究組織

分担



年間通じての活動の分担（案）

担当（部長）	部員
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	

全員で家庭科について考え、家庭科についての理解を深める。その中で得たものを、自学年での指導に生かすことで、次年度へとつないでいく。

授業研究の分担（案）

	A (身近な消費生活と環境) 10/9 5年	B (快適な住まい方) 1/29 (合同) 6年	C (食生活) 12/5 6年	D (家庭生活と家族) 11/22 (自主研) 5年
1年				
2年				
3年				
4年				
5年				
6年				
くすのき				
ことば				
7年				

5 年間計画

月	予定
4月	研究方針決定 研究年間計画作成 アンケート実施（児童・保護者）
5月	各部方針決定 指導案様式決定 「惇明スタイル」授業提案
6月	家庭科研究授業5年（衣） 文部科学省調査官講話 校内研（各部の活動）
7月	研究授業に向けて教材研究・教材教具作り
8月	研究授業に向けて教材研究・教材教具作り
9月	研究授業に向けて教材研究・教材教具作り
10月	10/2家庭科研究授業5年（消）
11月	11/22自主研究発表会・家庭科合同研究授業5年（家）
12月	12/4家庭科研究授業6年（衣）
1月	1/29家庭科合同研究授業6年（住）
2月	事後研
3月	研究のまとめ アンケート実施（児童・保護者） 次年度の研究計画

大研の日程変更
6月6日(木)3校時
5年3組

各担当の仕事を進める

